

科学暦  
宇宙語

# 瓦版

第六号  
科学暦七年四月二十五日  
発行人 角辻 豊

60G0S0N  
7 T 04 25

- 一 会長の挨拶 一ページ
- 二 「聞き書き」むかしの大阪 一〜三ページ
- 三 名前と読み方 四〜五ページ
- 四 暦・言葉のあれこれ 六ページ
- 五 食のロマンをたずねて 七〜八ページ
- 六 六年度活動報告・七年度活動予定 八ページ

## 「ご挨拶」

会長 角辻 豊

皆様、病室からの挨拶を許して下さい。私も足かけ二年に及ぶ闘病生活をしていまして、皆様にはお元気の事とおよるごび申し上げます。

当会も漸く会員数三千人近くになり、ますます盛んになりつつあります。

新しい提案は殆どないのですが、科学暦に関しては、『60...7.0221』を推奨しています。『...』で銀河年、『...』で恒星年、『...』で地球年を表します。地球年以下だけなら、コンピュータの自動並べ替えにも対応できます。

宇宙語の方ですが、先日、野球の松坂のアメリカでのTシャツに『DICE-K』とあるのに驚きました。まさか、60億のカケを象徴したわけでもないでしょうが、サイコ

ロバク子扱いは、あまりにも松坂に失礼でしょう。これも、『MATXZAKA Daiske』と表記してほしいものです。せめて『Daiske』のTシャツを見たいものです。

私の闘病生活はまだまだ続きそうですが、後継ぎも次男がやってくれていますので、期待と安心をしています。今後とも、当会の発展にご協力をお願いします。

今の所、「食べれズ、飲めズ、喋れズ」の三途(ズ)ノ川を泳いでいます。お正月には、もう少しで彼岸に着く所でしたが、ムリヤリ此岸に引き戻されました。現代医学のおかげです。

最近テロメライシンというウィルスを応用した癌の新薬が、岡山大学で発明され、アメリカで開発中です。これが間に合えば、元気になって皆様にお会いできるかもしれません。最後まで、希



望を捨てずに頑張るつもりです。ご支援よろしくお願ひします。

「テロメライシンについて、最新の情報をご存知の方は、角辻診療所  
Tel&Fax:072-696-1809  
まで、「ご一報下さい。」

われわれの銀河系の模式図(地図)を「科学暦」では、太陽の公転周期を一銀河年(2.5億年)とした。

## 聞き書き 「むかしの大阪」

最年長会員 中村 節さん (九十五歳)

母は今年三月二日に満九十五歳になりました。足が多少不自由ですが、記憶、特に古い時代の記憶はかなり確かです。一度、大正から昭和初期の大阪のことを聞いて記録してはという話が宇科連の幹事の間で持ち上がり、昨年九月十日に聞き取りが中村宅で行われました。聞き取り役は、角辻会長夫妻、佐野ほづみさん(角辻会長の次女)、中村夫婦で、テープ起こしは、和中みずほさん(角辻会長の長女)にお願ひしました。

年齢のわりにはしっかりと語っているようでも九十五歳のことで、話が妙にクドかったり、前後がおかしかったり、話のすじが通らなかつたりします。テープ起こしの原稿に息子の特権をもって、本人にも確認しつつかなり手を加えました。大阪



つけてました。  
（ガスのほやを掃除された  
り・・・）

いや、ランプですがな。パイプがきて、マツチすつてピツと火つけたら明かりがつくんです。私が子供の時は電気でなしに、それでした。それから電気がくるようになって廃止になりましたけど、街灯だけはそれが残ってました。夕方になったら人夫が脚立かついで火いつけに歩きますね。それも電気になりましたからね。ガス灯の街灯というのは、屋根があつて、四方硝子で、下から火つけて。マツチじゃなくてつける道具もつてましたね。ねじつたら付くんですよ。朝になったら消しに来たんでしょかね。



（その、米屋というのはよう話  
きくけど、小売屋なん？）

そう、米屋は小売屋。資本は、

かなりいるよ。なぜかという  
と、お客さんはみな半期払い。  
店は広うとつてあつて、ハンギ  
リいうて、大きな広い桶にお米  
を入れて、上等から下等まで、  
いろいろあつて、来たお客に、  
三升いえば三升はかるし、五升  
いえば五升はかるし、それ以上  
になつたら配達です。とにかく  
農家といつてもお米をつくら  
ないから、字（あざ）の大きさ  
にもよるけれど、その中には米  
屋は、一軒はあつた。そこへそ  
の小さい工場ができるから、そ  
の工場の職人さんは、たんとお  
米買われへんから、三升や五升  
買うていきはりました。大阪の  
北の淀川沿いのところは、川の  
北側にはお米作つてるところあ  
つたけど、南側はなかつた。

（おばあちゃんの生まれた家の  
ことを少ししゃべつて・・・）

明治の前から百姓やつたけ  
ど名字帯刀を認められて、代々  
中村惣左衛門（ソウザエモン）  
を名乗ってました。おばあさん  
（節の母の母）に聞いた話やけ  
ど、「わしがここに嫁に来た時  
は、雪隠組十六軒、雪隠は便所  
のことで、便所はかならず別棟

に建てるので家として八軒、  
同じ格の家があつたんや」と  
いうてました。ところがこう  
いう家が明治になつてからど  
んどん逼塞していく。青物も  
つて天満市場に行けば、毎日  
お金が入るんですもん。道楽  
息子が多うなります。そやよ  
つてに、しゃんとしたうち  
がどんどんつぶれました。道  
楽息子らがどんどん土地を手  
放しはじめます。その土地を  
江州やら播州やらの百姓の二  
男・三男で没落した家に雇わ  
れていた働きの人らが買  
うてすわ。

私の伯父もそんな道楽息子  
の一人で、この人は三代目惣  
左衛門なんですけど、家業の青  
物百姓を嫌がつて、屋敷を売  
て家を飛び出してしまいまし  
た。仕様がないので、二代目  
惣左衛門（道楽息子の父親、  
私のおじいさん）は一番末の  
娘に婿養子をとって、家を継  
がせました。これが私のふた親  
です。その婿養子は、当時の  
大阪市内の大きな米屋の奉公  
人でしたので、さきというた  
米屋を始めたのです。その時

に農地のさら地に小つちやい  
借家を三十軒くらい建てて、そ  
の借家の二軒分で米屋をや  
り、そこに住んでいました。その隣  
が小学校。私はそこへ通いま  
した。

（小学校は、尋常小学校？）

そうです。六年いきますや  
る、尋常小学校は。そのうちの  
隣の学校は名前は変わりました  
が、今もあります。

その時分になると大きい家と  
いうのは、道楽息子が放した土  
地を買った人らの家、つまりひ  
とつ格の低い家やから、うちの  
おばあさんなんかは軽蔑して  
はりました。男衆で使つてた  
が旦那になつたんやから。で、  
小学校でそのうちの子供と  
同級生になつて、私が遊んだら  
怒るんですわ。「なんであんな  
うちの子と遊ぶねん」という  
ても、同級生ですよんかなあ。そ  
れがどうしても飲み込めな  
んです。

（学校の話をしうか、尋常小  
学校からあと・・・）

（次号へ続く）

## 名前と読み方

会員 角尾 昌彦

一 名前は商標のようなもの  
リスニング能力 プロとアマ

名前や地名などの固有名詞は、今流に言えばトレードマーク(商標)の様なもので、書き方や読み方は正しく伝えることが大切です。自分の名前を間違えて呼ばれたり、書かれたりしたら、その場ですぐ訂正するよつにした方がよい。

私の「つのおまさひこ」の発音がうまくなくても、国際電話の交換手は漢字の説明をしなくても、彼女たちはオウム返しする習慣があるので、間違ったことは無かった。さすがにプロ中のプロだ。多くの西洋人も正しく聞き取ってくれる。

多くの日本人は、私の発音が悪いとめだろつが、「つのおを」すじつ「くのつ」「つじつ」時には「せのお」などと間違える。日本人は一般的に聴き取りが上手とは言えない。私は必ず、三角四角の「角」としつばの「尾」で『つのお(洋)＝角尾』、日本の日を縦に重ねた「昌」と彦左衛門の「彦」で『まさひこ＝昌彦』と伝えることにしている。西洋人がリスニング能力にす

ぐれているのは、子音を聞きなれているからである。また、子供の頃からの対人的な訓練によるものである。この訓練は、彼らの人の名と顔を覚える能力をも高める。

日本人が聴き取り上手でないのは、言語が母音系だから、子音を聴き分けられないから、また、社会に出るまでリスニング訓練を受ける機会が少ないからである。

書く場合にも注意がいる  
会社名の片仮名表記「キヤノン」商標「を」キヤノン」とよく間違える。ローマ字表記「S A N Y O」商標「を」S a n y o」とよく間違える。また、人名の富田さんの「富」を「富」と、書き違える。この様な間違いは、商標や名称に対する日本人の意識が低いことに起因する。

外国の名称でも  
外国の名称はよく間違われる。  
G o c h はオランダでは「ホッホ」  
H | o c h に近い発音(Hは喉の奥でHを発音)するのに対して、日本では「ゴツホ」と呼ばれている。  
私がオランダのフィリップス社と仕事をしていた時に、このことをH o c h 生誕の村「ニユイネン」に

住んでいる同社の友人に指摘された。  
また、A g e r i n a は現地で何度聞いても「アルヘンチーナ」としか聞こえない。それなのに日本では「アルゼンチン」と呼ばれている。

一方、A m s t e r d a m C o n c e r t O r c h e s t r a 交響楽団は「アムステルダムコンセルト」\「ボウ交響楽団」と正しく呼ばれている。

北欧語 オランダ語 スペイン語などで「G」の発音は「H」に近いことが多い。

間違いが起きるのは、それらの名前を日本へ最初に持込んだ権威者のリスニング能力に起因する。また、第三国を介して持込まれたことに起因する。

名称は、それぞれの母国における発音を出来るだけ忠実に表記し、発音するのが良いと思つ。

漢字圏の標記と発音も難しい  
ある辞書出版社の社長が、「日中韓で使われる漢字をデータベース化しようとしたが、各国の標準漢字の形と書き方が異なるため、また、中国で文化大革命以降漢字の簡略化が進み、議論のテーブルに載ったものの検討が進まなかった」とこぼしておられた。

中国の名称が横文字文化圏の新聞や放送に出てきたときに、私は殆どお手上げに近い。

欧米で作られた中国の地図や韓国で作られた韓国の地図は私には使えない。韓国では、ハンゲル文字を知らない私は、バスや電車に自由に乗ることが困難だったことを思い出した。

日本、中国、韓国・北朝鮮における人名・地名などの発音や表記については、各国の国語学者、外国語学者、歴史学者、哲学者、マスコミ関係者、出版関係者、文化人などがもつと真剣に取り組むべき問題だろう。

## 二 交流と時の流れ

世界語はある  
人と物の交流に伴ない世界語に近づいた言葉がある。

「母」ハハ」は、日本でもママ、世界中でもママ、マンマ、で通用する。  
「茶」チャ」は、日本ではチャ、世界中でも、タ、シャイ、テ、シャ、ティー、チーなどと、どれもよく似た発音であるので、どれかを言えば通じる。

「塔」トウ」は、インド発祥の「ストゥーパ」が、中国にわたり卒塔婆と

なり、更に、日本で卒塔婆 塔となる。  
「塔」トウ」は、また、地球を西に巡り、最後はTorre伊西(葡)、Tow(仏)、Ton(瑞)、Tower(英、米)となった。  
日本発の「ヒバクシャ」被爆者」は世界語の一つであるが、悲しいことである。また、「ツナミ」津波」も世界語の一つである。

古代語から現代語へ

古代の日本語の発音が消えてしまうことがある。これは残念なことの一つである。

古代の名前は万葉仮名のように、当初は発音に近い形で記されていた。漢字が飛鳥時代以前に朝鮮半島経由で日本に入ってきた。奈良時代から、日本で漢文が正式な記録に使われるようになった。その結果、それまで発音に忠実であったと思われる名前の読み方が歪んで行った。奈良時代に、このことに心を砕いたのが太安万侶である。古事記(七一年)の序文(注)を読めば彼の苦勞が良くわかる。

歪んでいった経緯は次の通りである。表音に基づいてあてた漢字の意味が悪かった、漢字を書き間違えた、あてた漢字の意味を取り違えた、などである。もし、こうした歪みがなかったら、

ら、日本の飛鳥時代以前の古代史の解明は表音を含めて、もつと鮮明になっていたのではないだろうか。

三・研究や施策が必要である

学者、研究者、行政の連携

幸いなことに、民俗学の研究により、原日本人である縄文人の名残りが今も東北地方以北とアイヌ圏に、また、沖縄の島々に、あるいは、熊野地方や山間僻地に残っていることが判りかかっている。

物の名前や地名は、言伝え、自然や古代神への感謝の仕方、行事や習わし、などの中に残っている。

関係する学者や研究者たちが分野の壁を取り払い、チームを組んで、科学的手法と論理学的手法を駆使し、古代史の解明に取り組むことが必要であると思う。このような研究に行政として予算を付けることが望まれる。

法制化も必要だろう

古事記を読んで、七世紀始めまでの地名を、道路地図上で多く発見した時には、私は興奮に近いものをおぼえた。

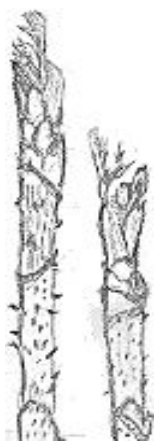
ここ数年、行政改革の中で、市町

村合併が盛んに行われている。また、大きな住宅地やビル群ができる元々の地名が消えてしまう。古くから伝わる地名が無くなりかかる。なくならないように法令で拘束することも必要である。

言葉の変遷を記録する

最近の若い人たちの間で、言葉の新造と言葉の簡略化が進んでいる。時の流れに応じて言葉が変わって行くのはよい。しかし、語源、本来の意味や使い方が消えないような、文化的、教育的、辞書的、データベース的な取り組みはもとより、これらを後押しする何らかの施策が必要である。

IT(情報技術)はこの施策を実行する絶好の道具である。現存の電子辞書は日常生活において便利な道具である。この技術を十分駆使することが大切である。



注1: 角尾について会社に入るまでは「つを」と振り仮名をつけていた。ある時、会社の担当者から「を」と振り仮名すると書類の処理に困るので、「お」にしてほしい、と言われそれ以降「つかり」「つのお」と振り仮名をつつようにした。コンピュータ時代の幕開けの頃のことである。

古来「を」は男、牡を意味していた。「つ」は「津」船着場「港」を意味する。「の」は助詞である。先祖は港に關係した男であったようだ。角尾は、姓としては少ないが、石川県、富山県、兵庫県、大阪府、東京都に比較的多く分布している。

注2: 古事記の序文「...上古においては言葉とその意味は素朴なので、漢字で言葉を記し文章にするのは難しいということが分かりました。訓読みのものは真意が伝わってこない、仮名読みのように漢字を一字に一字当てたものは長たらくなくなってしまいました。」

工夫した結果、次の様にしました。即ち、一つの文言を音と訓を交えて表現し、時には、一つのことを全て訓読みで表現しました。また、言葉のおさまりが分かり難いものは注釈でハッキリさせました。文意が理解できないものはそのままにして、注釈も加えていません。例えば、姓の「日下」は「玖沙河(くさか)」と読み、名詞の「帯(おび)」「の」文字を「多羅斯(たらし)」「と読むようにして、元の仮の読み方を覚えていけません...」

## 暦・言葉のあれこれ

事務局長 阪口 柴山

\* 科学暦の意図するものの一つは誰でも、どの国でも、どの宗教にも関係なしに、わだかまりなく使える暦であることです。

科学暦があつたら良かったのに、という事例を見つけました。読売新聞の連載もので、元経団連会長の今井さんの話。インドネシアのハビビ大統領と会談後に、奥の部屋へ案内された。大戦後の独立文書を見せられた。日付が05. 8. 17とあつた。今井さん、05が解からない。大統領がおっしゃるには、植民地としての支配者オランダが使う西暦は使いたくない。独立したのだから。だれど我國の暦はない。そこで、日本の皇紀の2605年を使っているのだと。科学暦があつたら、大統領もわだかまりなく使えたのに。

我国敗戦後、数多くの日本の兵士が、日本軍の武器や弾薬を携行してインドネシアの独立戦争に加わったのです。日本は独立への明らかな貢献者でもあるのです。

\* 西暦がかなりの範囲に普及したのは、西洋列強の植民地支配の結果であることは、先に申し上げました。何故タイ王国が独立を維持できたのか。今も仏教暦を使っている。

産経新聞の記事で理解できました。機を見るに敏なタイ伝統の外交術に加え、結果的に緩衝国となった幸運が大きかった。西と南から迫る英国・連合王国、東から忍び寄るフランスに挟まれ、英仏ともにタイの独立を守ることで、利害が一致した、という訳です。

\* 宇宙語の偉大さ。

旧約聖書創世記に、次のような記載があるとのこと。世界中は同じ言葉を使つて話していた。天まで届く塔を建てよう。神は人間の傲慢さを危んで、言葉を混乱させ、互いの言葉が聞き分けられないようにしてしまつた。バベル(ババル)の塔の話です。バベルは混乱という意味。この著名なエピソードから見ると、私共の宇宙語は、神の意恩に挑戦するほどの偉大なものと言つてことができます。人間に相互の意思疎通をさせるころくなことがない、と神はお考えなのです。人間は神の僕です。

\* 世界共通語の根強さ。

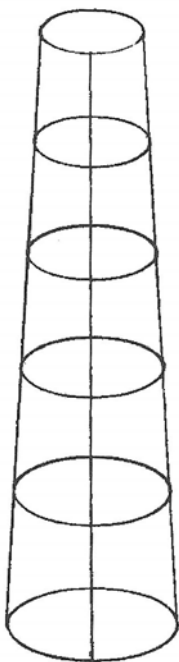
最近アメリカから届いた日本では、えは代金別納郵便のシールには PAR-AVION AIR-MAIL と記されていた。

超大国であるアメリカが、今もフランス語が世界共通語であつたことを尊重しているのかな、と思つてしまつた。AIR-MAIL だけで良いのに。アメリカとフランスは、決して仲の良い国ではないのに。

\* 度量衡においても、ヤードポンド法は根強く残っていますね。

メートル法がフランスで制定されたのは、西暦千七百九十五年です。未だにアメリカなどは、採用していません。科学暦の普及にも、かなりの年月がかかるでしょう。宇宙語も同様でしょう。我が普及協会は子々孫々と続けてまいります。

## “イメージを建てる”



株式会社  
**灘工務店**

〒541-0046

大阪府中央区平野町1-4-1

TEL  
06-6228-0126

FAX  
06-6228-0742

# 食のロマンを

## たずねて

会員 足羽 りょう

その庖丁人にラブコールしたのは  
昨年の初秋にさしかかる頃だった。

「究極のグルメ、してみませんか」  
のお誘いに、気のおけないカルチャー  
仲間、「講義よりだんご」とばかりに  
顔をいきいきさせたものの、先様のス  
ケジュール満載でおあすけをくらっ  
ていた。

待つこと延々、「去年今年賣く一念  
呆のごときもの」とにかくおしい  
ものを口にしたという執念はた  
とえ行列に並んででも待つ。この執着  
は経験のあるお方ならおわかりのは  
ず。辛抱強くその日を待ちつづけた。

包丁人の名は奥村彪生氏。氏は伝統  
食、民族料理に詳しく、ことに万葉料  
理の復元で名の知れた料理研究家だ  
ある。テレビ・雑誌ですっかりお名前  
が広まっていて、何よりも「食のロマ  
ン」を追求することにかけては知る人  
ぞ知る。

早春の一日ようやく大願成就。  
「食は奥村邸にあり」とばかりに、足

どり軽く気も軽く、JR和歌山線に乗

り継いで、おおよそ一時間のグルメの  
旅とシヤレた。めざすは香芝市下田。

目覚めにはまだ早いふつの冬枯れ色  
の野や田畑が、列車の窓わくにはめ込  
まれていく。伴走してチヨロチヨロ流  
れるのは葛下川、どこまでもどかな  
田園風景だ。それでもひなびた駅前  
に彼岸サクラが一本、ほんのり桃色に  
おめかしして姥ザクラ、一行を迎え  
てくれた。

食のロマン、創造と発信の「奥村彪  
生研究スタジオ」は、駅の裏側に竹の  
植え込みの中にあつた。またの名を  
「道楽亭」。道を解して自ら楽しむと  
いう亭主の遊び心がうかがえ、早く  
も受信する私の五感がモゾモゾ動き  
始めた。

「いやあ、テレビとおんなじお顔し  
てはるわ」と、連れの一人が素つ頓狂  
な声を上げた。ホント、藍作務衣姿の  
道楽亭主人は紛れもなくテレビで見  
知る奥村彪生氏だった。細い目をさら  
に直線にした破顔で迎えて下さる。  
温められた座敷には庭花が飾られ、  
整えられた座卓の上に主じの自筆で  
一人・ひとりに菜谱が用意されてい

た。

### 八八会御茶席菜谱

- 一 割鮮（和歌浦産大燃鯛・伊勢赤  
貝・浜ぼつふう・煎り酒）
- 一 あつもの（活車海老くずたたき・  
芽ねぎ）
- 一 あぶらもの（伊賀肉木いちごソー  
スわさび添え）
- 一 強肴二種（大根煎りだし・フグ  
白子茶碗蒸しボンズ添え）
- 一 香の物（わさびの花漬け）
- 一 水菓子

酒（千代）、茶（煎茶・ウーロン）  
きざらぎ 道楽亭主人

どつです、この味覚の取り合わせ。  
加えて季節の香りと夢を添えての豪  
華な献立にいただく前からもうワク  
ワク。

「八八は末広がりを意味します。こ  
婦人の集まりやと聞きましたからね。  
濁って読むって手もありますが……」  
言葉あそびを得意とする主じの目  
が悪戯っぽく笑つた。

まずは祝菜。古来の珍しいおみきす  
ず（錫で造つたお神酒とくくり）から  
全国一位になった地酒・千代がルビー

色のグラスにトクトクトク……。ひ  
んやりとした液体はまるで白ワイ  
ンにも似て、ほてった口中をさわや  
かに潤す。料理には奉書紙が被さつ  
ていて、その紙に描かれたお多福  
に、主じの演出と心遣いが伝わって  
くる。この奉書の下にはどんな料理  
がと、そおつとはずしてみると……

金箔をほどこした輪島塗りの四  
方。その中に、前記の海の幸・山の  
幸をほどこして、さじつめ早春の宴  
とでも言おうか。ワラビが、つくし  
が、菜の花が、そのままの彩りでハ  
マグリの皿に寄宿している。割鮮と  
はお刺身である。青味に浜防風を飾  
つて唐津焼きのお皿に盛られてい  
る。赤貝のなんと見事なこと。（濡  
れた赤瓦のような）と照りかがやい  
ている赤貝に感動して、詩人になつ  
た。これを残つた煎り酒につけ（ウ  
ーン）、ほのかな潮の香がしてきた。  
お次ぎの料理にまた歓声があが  
つた。輪島塗のぬばたまの椀にエビ  
の赤と白、その上に緑あざやかな糸  
のよつに細いネギが、うす黄色のく  
ずのお汁に収まっている。ため息を

ついでからあつあつをひと口嚙つた。濃密で、しかもおだやかで。

白地にちよいと赤味のある柄を添えた上品な京焼きの蓋物が運ばれてきた。フタをとるとドキッと赤色の肉だ。なまめかしい。思わず生唾を飲み込んだ。肉汁がじゅわっと滲みだし溶けるような柔らかさ。主じの思い入れの木いちごソースの甘みと、酸味が肉のうまささをさらにさらに増している。

作家の池波正太郎が何かの本で書いていた。「松阪肉は丹精込めて飼育された処女なら、伊賀肉はこつてりとした油ののった年増女である」とすると、(とも喰いじゃないの)と心でつぶやいたら、(女さかりはモウー過ぎてますがな)と伊賀牛の声が聞こえてきた。

「次なる作品は目のさめるようなトルコブルーの小鉢に雪景色を盛ってみました。素材は大根。低温で揚げた大根に、これまた大根おろしでデコレーションをこころみて」道楽亭主じは説明し、悪戯っぽく「おみ足を削って食べるようなもん」。みな慌てて自分の大根足をさすった。

すでに胃袋はいっぱい。だがこの間にさりげなく煎茶が出されていた。さすがプロ、消化の時間も計算されているのだ。ここで二十分ほど閑話休題

「やめときなはれ、こんな高いもん」と仕入れの魚屋に言われたというフグ白子の茶碗蒸し。とろけるようなまったりという言いまわしがぴったりに。実にノドごしがいい。絹ごし豆腐のようになめらかだ。それにしても採算を度外視した椀ふるまいだ。

お次は鯛飯をサフランで染めた黄飯。幕切れはデザートの水菓子。「春はあけぼの」と口をついて出そうな彩りの見事なこと。最後はウーロン茶で締めくくられた。計算され、洗練された庖丁人のこだわりが、台湾産の上等な一杯のウーロン茶に凝縮されている。

気がついたら四時間半もかけてゆつたりとくつろいだ食事をしていた。一品一品に・素材・料理・器を吟味し洒落たネーミングで、凝りに凝った道楽料理をじっくり味わえた至福の時だった。質にも量にも見た目にも細やかな神経がこめられ、思い入れの分も味にプラスされ伝わってくる。

料理の運びには文章と同じ起承転結があり、間の取り方にも演出がある事を知った。どこで採れたものがつまいかと素材の研究を重ねる。素材には旬と言う俳句でいうところの歳時記があるということも見つけた。

「料理はねえ、遊と楽。自己満足こそ生みの親やねえ。人のやらないこと、思いもよらぬ組み合わせが新しい味を生み出す。道具も器も高品質でいろいろに使えるのがよろし。いつも自由な発想でたのしくクッキングしてますねん」

言葉を料理する主じは、ビールを飲みながらこともなげに言い切った



科学暦6年度理事会報告

- 7月28日、中村顧問宅にて。
- 一、瓦版5号の発行(三千通)、発送(二〇一三通)
- 二、闘病中の会長に万一の場合の後継者問題
- (会長の次男 格氏に決定)
- 三、瓦版6号の構想、原稿集めの件
- 四、その他

科学暦7年度活動予定

- 一・理事会  
科学暦7年7月27日(金)
- 二・総会  
科学暦7年9月7日(金)  
18時より。JR芦屋駅北側100m。「大原集会所」にて開催の予定。

会報に掲載の広告募集

次号に掲載いたします。  
一頁の五分の一 5,000円  
十分の一 3,000円  
お申込は事務局まで。

科学暦・宇宙語普及協会事務局

芦屋市奥池町二十二 一八  
角辻総合人間科学研究所 気付  
電話〇七九七・三八・〇一一一

編集人 安積 聖夫  
科学暦七年四月二十五日